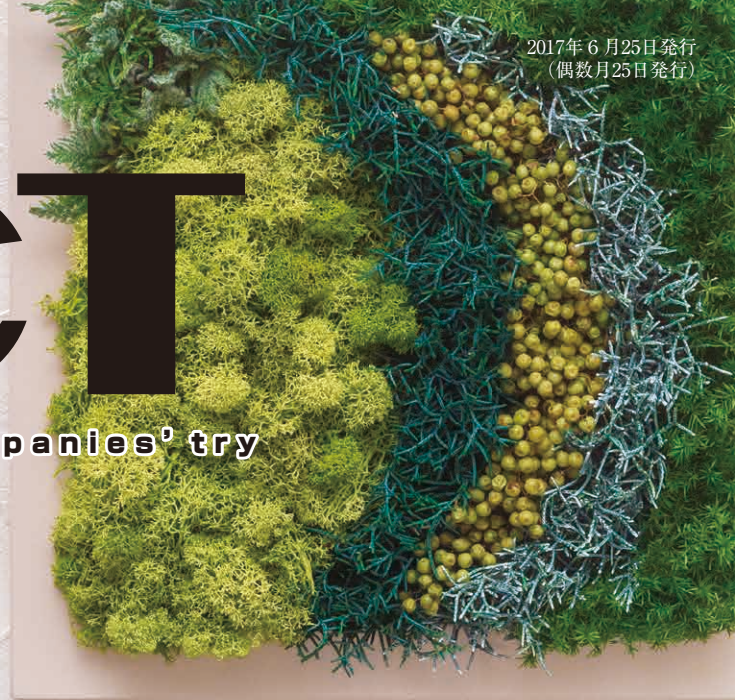


前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try



【特集】 **デザイン** の力で課題解決
～ものづくり新拠点 福井ものづくりキャンパス～

vol.25

福井ものづくりキャンパスより 県内企業の皆様へメッセージ

「福井ものづくりキャンパス」は、福井県のものづくり産業の振興や人材育成の拠点として、昨年11月にサンドーム福井管理会議棟にオープンしました。デザイン情報の提供や商品開発の相談ができるデザインセンターやデザインラボを備えるだけでなく、展示会やイベントに使える多目的ホールや焼きたてのパンを食べながらゆったりくつろげるカフェ「モノカフェ・パール・エスポワール」もあります。

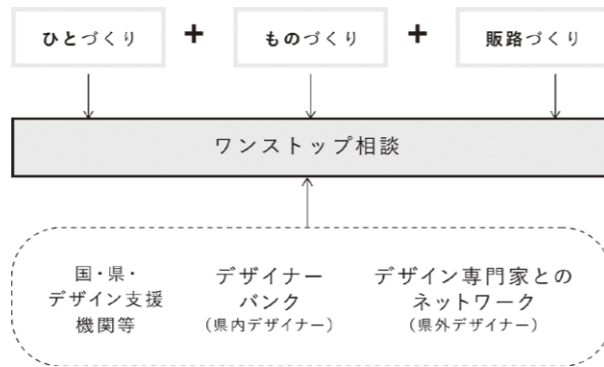
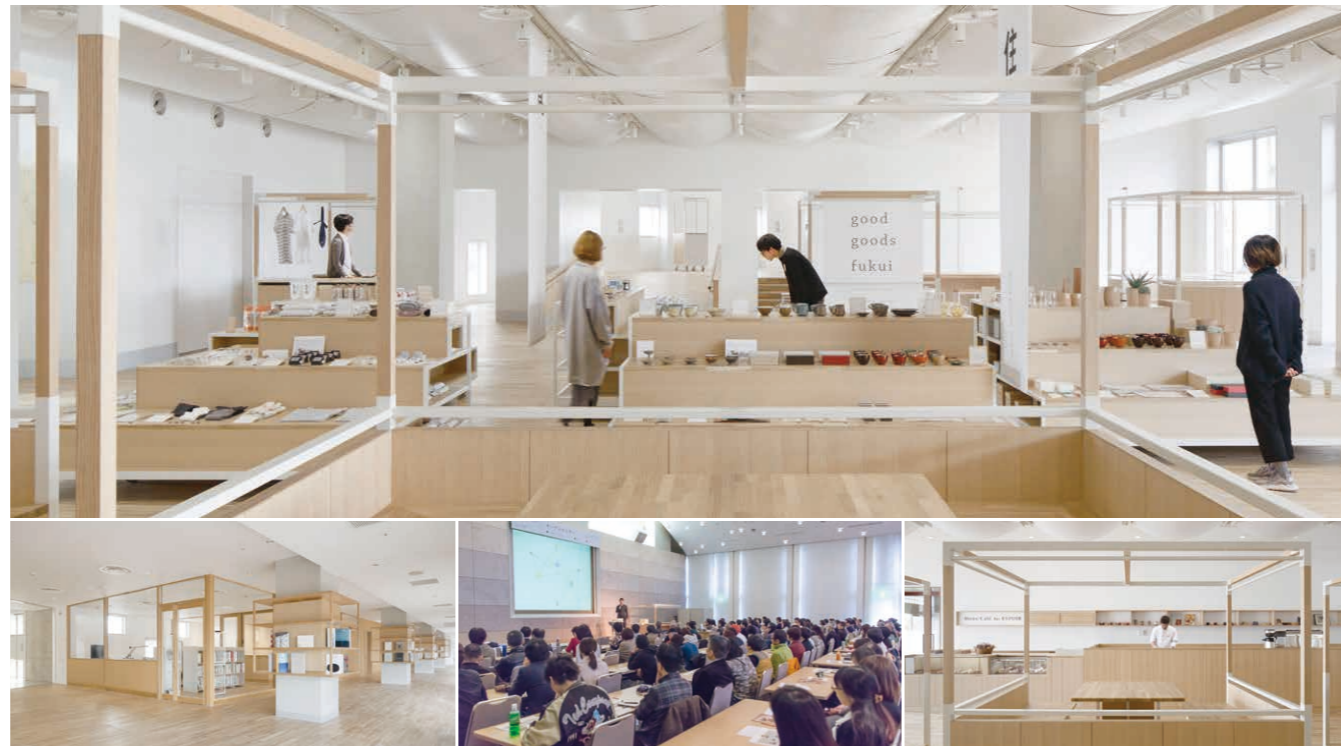


デザイン振興部長
松山 治幸

「デザインセンターふくい」では、県内デザイナーの紹介やデザインセミナー・展示会の開催、マーケティング相談などのソフト支援と、3Dプリンターやレーザーカッター等を備えた「デザインラボ」での試作開発などのハード支援の両面からデザイン支援を行っています。「ひとづくり」、「ものづくり」、「販路づくり」をキーワードとして、伝統工芸産業をはじめとする福井のものづくり企業の相談にワンストップで対応しています。

多目的ホールでは、デザインや県内のものづくりに関する企画展が開催されており、ものづくりに関わる人だけでなく、一般の皆様が気軽に県内のものづくりを知り、楽しみ、学ぶことができます。

皆様のご利用を心からお待ちしております！



デザインの力で 課題解決

～ものづくりの新拠点 福井ものづくりキャンパス～

昨秋、サンドーム福井にオープンした「福井ものづくりキャンパス」内の「デザインセンターふくい」では、企業の持つ課題に対して、「ひとづくり」「ものづくり」「販路づくり」という3つをキーワードで、福井のものづくり企業の相談にさまざまな事業を通して対応しています。特集内では、それぞれの持つ課題をデザインの力を活かし解決に導いた県内企業をご紹介します。読者企業の皆様も、経営課題の解決にデザイン視点をプラスしてみたいはいかがでしょうか？
人材育成や商品開発、販路開拓に対し、「デザインセンターふくい」がサポートいたします。

デザインラボ



3Dプリンターやレーザーカッターなどの機器を活用したものづくりが行えます。
※利用事例はP8でご紹介

デザイナー派遣



さまざまな分野で活躍する県内デザイナーを企業のニーズに合わせ派遣します。
※利用事例はP5,6でご紹介

産地ブランディング支援



団体や企業グループに対し、県外で活躍するデザイナーによる地場産品の商品開発や産地ブランディング指導などを行います。

技術開発・共同研究



業界ニーズに適合した研究開発や、企業等との共同研究を行います。

ひとづくり

デザインアカデミー



企画から販売まで、ブランディングを基本としたデザインマネジメントができる実践的な人材育成を行います。
※利用事例はP3,4でご紹介

デザインライブラリー



デザインの専門書や情報誌を多数そろえて、閲覧や貸出しを行います。

デザイン展&セミナー



優れたデザイン事例や最新のデザイン商品の展示会をはじめ、第一線で活躍するデザイナーによるセミナー、交流会を開催します。

デザインアーカイブ



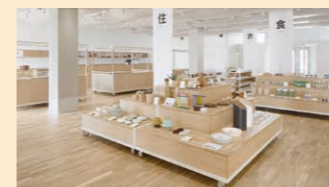
県内企業への具体的な開発支援事例などを紹介します。

マーケティング支援



一般生活者のトレンドやマーケティング情報をもとにして、商品改良やブラッシュアップを支援します。
※利用事例はP7でご紹介

展示企画等支援



商品や企業の展示企画等について、目的に沿った効果的な見せ方などについて支援します。

展示商談会出展支援



商談会出展の機会を設け、全国規模の販路開拓を支援します。

販路づくり

ものづくり

CONTENTS

- 01 特集 デザインの力で課題解決
～ものづくりの新拠点 福井ものづくりキャンパス～
- ・イントロダクション
福井ものづくりキャンパスのご紹介
- ・企業事例
 ㈱八木照/ブッラータ専門工房CheeBo/
 ㈱アトラス/㈱関坂漆器
- ・県内商品ダイジェスト紹介
 デザイナーマッチングによる商品開発
 企業事例7社、デザイナー7名
- 11 完成への道のり ㈱ホクシン
- 13 今月の注目企業 福井小松フォークリフト㈱
- 15 脱!Tオンチ経営
- 16 産業支援センター入門 砂田電器 氏
- 17 学びと人材育成
- 18 福井のすご技!探訪 ㈱春江金成製作所
- 19 グッドデザインシンキング
- 20 インフォメーション 他

株式会社八木熊
 http://www.yagikuma.co.jp/
 http://greensenses.jp/ (green senses サイト)
 所在地: 福井市照手2-6-16
 電話番号: 0776-22-3300
 代表者: 八木 信二郎 氏
 資本金: 2,538万4,500円
 従業員数: 100名
 事業内容: 繊維用糊材・油剤・関連商品等販売、繊維・化成
 品等販売、合成樹脂原料・接着剤等販売、住設建材・
 資材等販売、自社ブランド製品製造・販売など



販用のカードやパンフレット。シリーズ内でも商品ごとにデザイナーを変え、商品イメージに合った展開をしています。



グリーンセンスシリーズ「grart」(上)と「AccentGreen」(下)。

「ひとつくり」

アカデミーでの学びを 新規事業推進に

株式会社八木熊

1895年に創業し、県内有数の100年企業として業務展開する株式会社八木熊。営業・開発・生産部門が一体となり「商社×メーカーの融合体企業」の業態を推し進める中、同社は「新たな成長の礎に」と自社商品シリーズ『グリーンセンス』を立ち上げました。プロジェクト推進に当たり『福井デザインアカデミー事業』を生かしたという、同社C/S本部グリーンセンス室の中谷元保氏に開発のエピソードを伺いました。

国内製造業の状況受け 個人向け市場に注目

グリーンセンス室の前身である事業推進室ができたのは約5年前。当時のメンバーは中谷氏を含めて2人で、八木信二郎社長からは「当社の既存ビジネスの枠にとらわれず、何をやってほしい」という指示があったといいます。「社長の言葉を受けて農業や漁業なども含めて様々なジャンルをリサーチし、15個くらいのテーマをピックアップしました」と振り返ります。日本の製造業が生産拠点の海外移転を進めている中で新規事業展開に当たって個人市場、とりわけ壁面緑化や屋上緑化の分野が有望株として浮上りました。「自然環境配慮型商品ということで新規参入するメーカーは多かったのですが、当時は必ずしも活発な市場ではなかったですね。というのも、機性能重視でデザインが後回しになっているような商品が多かったからなんです」。

販売ノウハウ不足で 売れ行き不調の時期も

そんな折、中谷氏はたまたまフランスのバーティカルガーデン(垂直庭園)の存在を知ります。単に植物を並べるだけの壁面緑化ではなく、アーティスティックな質感を伴った壁面装飾。「会社に掛けたら現地に出張させてもらったところ圧倒されました。このすばらしさを日本の市場にも取り入れたいと強く思いました」。

とはいえ、生の植物を使うと、こまめな手入れが欠かせません。そこで「純粹に緑を室内で楽しんでもらう商品」というコンセプトを据え、ブリザーブドフラワーの応用を思い立ちました。

「ヨーロッパアンフラワーデザインの第一人者である久保数政さんに飛び込みで電話をして『バーティカルガーデンの美しさを日本にも紹介したい』とアプローチしました。我ながら無謀なことをしたものだと思いますが、二つ返事で『面白そう』だと言っていただけでした」

強力なブレーションを得て、初

アカデミー受講きっかけに 県内の専門家と商品開発も

もやもやとした状態が続く中、中谷氏がたまたま見つけた1枚のチラシ。ふくい産業支援センターデザイン振興部が行う『福井デザインアカデミー』の募集案内でした。長年総務畑を歩み、新卒採用などの業務を通じてデザインへの関心が高まっていたという中谷氏は、約4カ月間の講座でマーケティングやコピーライティングなどの手法を体系的に学ぶことができたといいます。

「今でも記憶に残っているのが、講師の方の『デザイナーと会話ができるようになりなさい』という言葉ですね。発注者としてこの姿勢を意識することで、デザイナーとの距離が縮まったと感じています」。アカデミーをきっかけに県内在住のデザイナーとも知り合うことができ、新シリーズ開発にも結び付きました。現在販売中の商品価格帯は「百貨店品質を目指している」1万円〜2万円が中心で、都内の有力百貨店や大手雑貨店との直接取引も増えつつあり



中谷 元保 氏



デザインアカデミーでの様子。グループワークやプレゼンテーションなど実践的な内容の講義です。

ます。既存の枠にとらわれずに始まったプロジェクトというものの、グリーンを植栽するためのベースやパッケージの設計・製造では、同社のプラスチック製品メーカーとしてノウハウがふんだんに投入されています。

「これまでBtoB中心だったため、製品開発ではデザインより機性能・強度・コストなどが重視される傾向にありました。しかしアカデミーに通ったことで、当社のような業態でもデザイン力を高めることが重要だと実感しました。いずれグリーンセンス室のスタッフ全員にアカデミーを受講させたいです」と力を込めます。



持ち帰り中などに逆さまになってもケース内で商品が曇れないよう、梱包にも工夫。資材メーカーならではの心配りがバイヤーにも好印象とのこと。

ブルラータ専門工房 CheeBo

所在地：福井市湊4-1536

電話番号：0776-34-2021

代表者：渡邊 晴弘氏

事業内容：ナチュラルチーズ ブルラータの製造・販売



「ものづくり」

デザイナーとチームを組み、
スペシャル感をカタチに

ブルラータ専門工房 CheeBo

商品の販売促進や企業のブランディングにおいて、パッケージやロゴマークなどのデザインは大きな役割を担います。以前フードビジネスでフランチャイズを展開した経験を持つ渡邊晴弘氏は、そんなデザインの重要性を熟知。国内でも珍しいブルラータ専門工房CheeBoを開業するにあたり、デザイナー派遣事業を活用しました。パートナーのChako氏と共に、デザイナーとチームを組んだPRツール制作の経緯を伺いました。

完成したメインのパッケージ。
チーズの特別感を演出する素敵なデザインに仕上がりました。



パンフレットや名刺なども一連のデザインに統一し、ブランドイメージを固めます。

スペシャル感を備えた
販促用のPRツールを

2年前にそれまで手がけていたフードビジネスから外れ、第2の人生に踏み出した渡邊氏。今年、パートナーのChako氏と、日本初のブルラータ専門工房CheeBoを立ち上げました。

ブルラータとは、巾着状のモッツアレラチーズの中に、ストリングチーズと生クリームを閉じ込めたイタリア原産のフレッシュチーズ。輸送が困難で地元の人しか食べられない「幻のチーズ」として知られています。「福井でチーズ作りをするにあたり、競合となる輸入品にはなく、モッツアレラのように国内で多く作られていないことから、ブルラータでいこうと考えました」と語る渡邊氏。

2人は蔵王酪農センターでチーズ作りの基礎を学び、約1年かけて独学でブルラータ作りの技術を修得。地元の酪農家と契約し、自宅の車庫を改装して工房にするなど、生産体制を整えました。単価も決まり、販売促進のPRツールを考え始めたとき、「現状

する」というスタンスで、亀田氏は店名・商品ロゴやパッケージ、パンフレット、HP等を提案。制作物に落とし込むまでの工房のコンセプト整理やイメージづくり、商品分析、ターゲット設定、情報の整理や表現方法の検討まで共に取り組み、支援内容は幅広いものになりました。「例えば、ブルラータの白トリュフバージョンの展開で、白トリュフオイルを詰めた小さいスポイドを添付して直前にかけてもらうようにしたことも、

のチーズのパッケージに疑問を抱いた」と語る渡邊氏。「値段は高いのに、ビニールパックにシールを貼っただけのものがほとんど。貴重なチーズだし、贈り物としても使ってほしかったので、スペシャル感を持ったものにしたかった」と思いを語ります。

イメージを具現化する
デザイン&コンセプト

創業にあたり、ふくい産業支援センターの創業補助金を活用していた渡邊氏。パッケージ等のPRツールのデザインを模索するなかで、同センターのデザイナー派遣事業を見つけ申請を行いました。「いろんなデザイナーの方が登録されていて驚きました」とChako氏。「実は、そのなかで、以前お仕事を一緒にしたことのあるデザイナーさんを見つけたんです。ご縁を感じました」と渡邊氏が続けます。

2人が選んだデザイナーは、Leicameの亀田幸恵氏。色合いやデザインのスタイルなど、すでに2人が持っていた「イメージを具現化

彼女の提案です。香りを大切にしたいという、私たちの気持ちをわかってくれていてと感じました」と満足そうに微笑みます。

チームという考え方で
役割分担をして委ねる

デザイナーに仕事を依頼するにあたり、渡邊氏が心がけたのは、「One for all, All for one」というラグビーの精神だったと振り返ります。「僕は昔ラグビーをやっていたので、PRツールの制作にもチーム」という考え方でぞみました。自分は何をしないとけないか、誰に何を託すのか。デザイナーさんとの役割分担を決めたら、その先は信頼して委ねる。亀田さんも、私たちとチームになる」という感覚で取り組んでくださいました。そうしてスペシャルな贈り物にふさわしい、英文のみで構成された高級感あるPRツールが完成。CheeBoの世界観を伝え、ファン作りにつながるものになりました。

「派遣は4回と回数も少な



ブルラータチーズ。あえて塩味も抑えて仕上げ、料理のアレンジの幅を広げています。



渡邊 晴弘氏(左)、Chako氏(右)

く、当初は大丈夫かなと思っただのですが、すごく親身になって、こちらの要望に応じていただきました」と語るChako氏。「デザイナー派遣事業をまだ知らない方もいると思うのですが、使わないと損(笑)。こういう制度を使っても、いろんな方が福井の産業やものづくりを活性化する機会が広がるといいなと思います」。派遣終了後も、引き続き亀田氏とブルラータの新しい商品企画・開発を進めています。



自宅のガレージをリノベーションし、衛生管理も行き届いた専門の工房に。



専務取締役 荒井 啓治氏

株式会社アトラス
<http://atorasu.jp.net/>
 所在地：勝山市栄町3丁目4-12
 電話番号：0779-87-6886
 代表者：荒井 孝氏
 従業員数：4名
 事業内容：衣料用繊維品の販売



「販路づくり」

デザイナーのアドバイスで
既存商品をブラッシュアップ

株式会社アトラス

勝山市で衣料用繊維製品の販売を主軸に事業を行う株式会社アトラス。中でも特徴的なのは、和紙の糸を使ったニット生地の取り扱いです。快適性と機能性に優れた生地の特徴を活かし、以前から販売を続けている靴下「越乃和紙」は同社の看板商品とも言える存在。そんな靴下の販路拡大に向けて、ふくい産業支援センターの事業を利用した経緯を専務取締役の荒井啓治氏にお聞きしました。

「ケージの力で、ギフトとしても贈っていた商品に仕上がったと感しています。この6月中には、いよいよ新たなパッケージでの販売を開始する予定の同社。冬用を開発を始めている二重靴下のパッケージについても三木氏に相談を持ち掛けています。早くも次なる展開も見せているようです。」

福井ものづくりキャンパス
デザインラボを利用した商品開発が始まっています！

“Store” container collection

株式会社関坂漆器

漆器の製造・卸のみならず、デザイン雑貨やアパレルを取り扱うセレクトショップ「ataW」を運営する同社の新プロジェクト“STORE”。伝統的で象徴的な、日本の漆器のお椀をベースに、そのカタチを底にして上に伸ばしたようなデザインです。伝統的なカタチを操作することで、現代のライフスタイルにも対応できるプロダクトに仕上がりました。



「STORE」の使い勝手のポイントでもある、木製の蓋の裏に付いたシリコンパッキン。ABS樹脂製の本体（お椀部分）とのフィット感を調整するために、デザインラボのレーザーカッターを利用し、試作を繰り返したことで製品として完成しました。

＜デザインラボで利用できる機械のご紹介＞

- ① 光造形機 利用料 5,000円/h
- ② 石膏3Dプリンター 利用料 1,400円/h
- ③ レーザーカッター 利用料 700円/h
- ④ UVプリンター 利用料 500円/h

ご利用は完全予約制です。
事前に電話またはメールでご連絡ください。

デザインセンターふくい
 メール：designlabo@fklab.fukui.fukui.jp
 電話：0778-21-3154



県事業への応募で
課題解決の道筋を作る

同社の打ち出す、和紙からできた糸を使った靴下は全国的にも珍しく、オリジナリティーの高い商品。吸湿速乾性や抗菌防臭性などにも優れた機能性が評価され、県内百貨店の取り扱いも始まっているなど、品質の高さは折り紙付きです。しかし、当初から、価格に対してパッケージの質がいまいちと感じていた荒井氏。「ビニール製の袋にシールを貼っただけのもので、百貨店担当者からも『物は良いのに、パッケージの高級感がちよっと』と言われていました。そんな折、手をつけるきっかけになったのがデザインセンターの事業に出会えたことでした。良いタイミングでラッキーでしたね」と同氏。

商品バリエーションの追加と
高級感のあるパッケージ

初回の打ち合わせで、ブランドデザインの重要性を再確認した両者。都市部の人や外国人観光客の目からみて、また、性別を問わず魅力的に映る商品を目指し、元々の課題であったパッケージはもちろん商品ラインナップについても見直しを図ることになりました。これまでになかったショート丈やミドル丈、国体キャラクターの「はぴりゅう」をイメージした赤・青のトート

グなどを総合的に支援する事業です。デザインセンターの職員との打ち合わせの結果、県内のデザイナー三木あひ氏との協働がスタートしました。「約4カ月の取り組みの中で、5回、三木さんや山本さん（デザインセンター職員）との打ち合わせを重ねました。最初の打ち合わせで三木さんにも商品が気に入っていただけで、そこからの流れもスムーズでした。一人で考えていたのでは出てこないようなたくさんのアイデアをいただくことができました。」

「まず、越前和紙のみみ紙の質感で高級感が格段にアップしましたね。包み方にも工夫のある提案をいただきました。のりやホチキスを使わず、折り紙のような包まれ方になっており、開けていく行程にワクワク感があり、日本的な贈り物の要素がプラスされています」と、その出来に満足している様子です。今回、新たにデザインされたブランドロゴはモノトーンでシンプルに表現され、それに付随する糸の束の存在感を引き立て、和紙の糸で編まれているという最大のアピールポイントを視覚的に表現しています。

「今回の取り組みでデザイナーさんの引き出しの多さには何度も驚かされました。自身のブラッシュアップとパッ

エコファームみかた(若狭町)

◆梅酒『BENICHU』



男性向け梅酒の新商品開発において、普段梅酒を好まない男性でもバーでボトルキープしたくなるような男心をくすぐるデザインが必要だった。ラベル全体をブラックで仕上げ、アルコール度数を大きく入れることで、ハードな梅酒ということを伝えている。象徴的な唇マークは「紅映梅」の「紅」をイメージ。

デザイナーはこの人

株式会社プロデュース 今井 雪央氏
グラフィックデザイン、販路開拓サポート、
ブランディング、ネーミング、空間デザイン等
Tel: 0776-63-6458
e-mail: imai@pro-duce.co.jp



有限責任事業組合ちそのかほり(福井市)

◆『木田ちそサイダー』



福井市木田地区の伝統野菜「木田ちそ」を使ったサイダーや飴、ゼリーのパッケージのほか、販促用リーフレットをデザイン。木田ちその素朴な味わいが統一のロゴやビジュアルで表現されている。リーフレットの「方言のような味わいですね。」というコピーも面白い。

デザイナーはこの人

六感デザイン 野路 靖人氏
グラフィックデザイン、
アートディレクション、広告等
Tel: 0776-88-0038
e-mail: info@rokkan-d.com



山田英夫商店(越前市)

◆包丁『風味絶佳 ECHIZEN』



従来の高級感や重厚感を押し出すデザインではなく、あくまで料理の「名脇役」となる包丁であることをコンセプトに。ロゴデザインは細身の線でありながら、どこか凛とした佇まいそして一文字一文字の風格など、繊細さとどこか古典を感じられる古風さを表現した。

デザイナーはこの人

Leicame 亀田 幸恵氏
グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、
パッケージデザイン等
Tel: 0776-63-6171
e-mail: leicame@came.org.in



デザイナーと共に 完成させた県内商品 ダイジェスト紹介

県内企業により創り出された良質な商品。それらをさらに魅力あるものにブラッシュアップするのがデザインの力です。ここでは県内デザイナーとのマッチングで商品化されたプロダクト等をご紹介します。

デザイナーとのマッチングに!

Designer Bank

検索 デザイナーバンク

デザインセンターでは、デザイナー情報を収集整備し、デザインを積極的に活用しようとする県内企業や各種団体、自治体、さらには地域社会等にデザイナー情報の紹介を行っています。

株式会社ファインモード(越前市)

◆リバーシブルレギンス『i + F (イフ)』



体に締め付けの跡を残さず、リラックスできるのに、スタイルアップできる、旅行に持ってくのにコンパクト…などなど、女性として理想的なレギンスを考案。図柄は福井県内の「本当は教えたくないけど、隠れたオアシス」をテーマに、モダンなテキスタイルに仕上げた。

デザイナーはこの人

aiMIKI STUDIO 三木 あい氏
グラフィックデザイン、テキスタイルデザイン、
イラストレーション等
Tel: 0778-23-1834
e-mail: aimikiai@gmail.com



くら(福井市)

◆ロゴ等店舗ビジュアルのリニューアル



トンカツの本場はヨーロッパだと思いませんか。

ロゴとタグラインの見直しからスタートし、見づらかったメニューのリニューアルや店内ポスターを作成した。8号線に面した店舗の前に大きな懸垂幕のぼりを設置するなど様々な施策を実施。懸垂幕のおもしろいコピーとビジュアルが話題となり、客足が停滞しつつあった同店の課題解決の一助に。

デザイナーはこの人

オルグワークス 村中 智宏氏
ブランディング、広告宣伝、グラフィックデザイン、
映像、ウェブサイト等
Tel: 0776-74-0013
e-mail: muranaka@orgwks.jp



タイヨー電子株式会社(鯖江市)

◆工場野菜『タイヨーのお野菜』



水耕栽培の工場生産野菜のパッケージデザイン。露地栽培のような親しみやすさをイメージして、光と水のキャラクターとロゴがデザインされた。スーパーの店頭で陳列されたときの彩りを考慮し、基本的に単色での展開としている。

デザイナーはこの人

田中 日奈子氏
グラフィックデザイン、イラストレーション、
エディトリアルデザイン等
Tel: 0776-27-0975
e-mail: hiyocoya@sunx3.com



株式会社小大黒屋商店(福井市)

◆アロマ和ろうそく『灯之香』



福井県知事指定「郷土工芸品」の認定を受けている伝統の和ろうそくのかたちを継承しつつ、現代生活に彩りを添える形状に。自宅、旅館やホテル、飲食店など和洋を問わずどの場面でも空間を美しく演出。収納されがちだった非常用のろうそくをインテリアとして利用できるデザインに。

デザイナーはこの人

アーチザン&パートナーズ 景山 直恵氏
デザインコンサルティング、アートディレクション、
グラフィックデザイン等
Tel: 0776-28-0283
e-mail: artisan@mx3.fctv.ne.jp



完成への道のり

商品はどのようなプロセスで完成されていくのか。企業によるアイデアの創出から新商品誕生までの開発ストーリーを紹介します。

期待の素材「炭素繊維」分野で 拡販に挑む

株式会社ホクシン

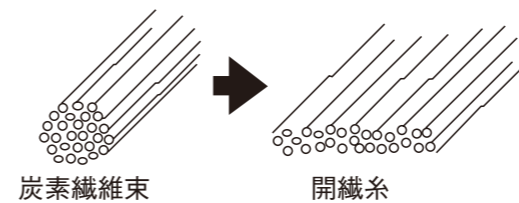
繊維加工に不可欠な技術 県と共同で研究開発

開織とは1万本以上という炭素繊維の糸を束ねた「原糸」を広げる工程を指します。炭素繊維による複合材料を作る際は原糸に樹脂を含浸させるなどの加工が必要で、開織により液剤などが染みこみやすくなるという利点が生まれます。

同社が福井県工業技術センターと共同で開発・改良を進めてきたのは、空気を使った開織技術。高温の温風を原糸に当てて接着剤を溶かした後、空気で吸引される部分を通過させることで均等に原糸をほぐす仕組みです。岩本氏は「開織にはローラーで広げたり液体内に通したりするなどの方法があります。しかし、

例えばローラーで広げる方法だと糸が切れるなどのおそれがあり、現在は空気を使う方法が主流」と話します。

空気を使う方法はもともと県が特許を持ち、同センターの呼び掛けに応じた同社との間で試作機製作や試験、改良といったプロセスを約15年にわたり続けてきました。機器の販売は県と契約を結んだ企業だけに開放されてきた経緯があります。5月、県の持つ基



本的な特許が期限切れになるのを前に、同社でも販路拡大に向けた準備を進めてきたのです。

顧客企業の声が メーカー機能を後押し

同社は1970年に創業し、官公庁や大学、企業などへの機器販売を主軸としてきました。一般に商社とされる業種でありながら、なぜメーカーとしての機能を持つようになったのでしょうか。入社15年目という岩本氏は振り返ります。

「お客さまの要望に対して『何でもやります、できます』と応えるのが商社のスタンス。県内外に取引先を広げる中で、顧客企業の機器改良・新規製造などの相談が少しずつ

株式会社ホクシン

<http://www.hokusin-web.co.jp/>

所在地：福井市経田1-104

電話番号：0776-21-0457

代表者：前野 光正 氏

資本金：3,000万円

従業員数：65名（パート含む）

事業内容：電子計測・理化学・分析機器販売、電子部品販売、基板アセンブリー設計・製作、計測システム・省力システム的设计・製作等



白井 和廉 氏

つ増えてきました。弊社が窓口となって協力メーカーさんとさまざまな取り組みをするうち、自社でも開発部門を設けた方がいいのではという話になったのです」

2004年、本社内に技術サービス課を設けたのを皮切りに、2009年には福井市西開発にサービスセンターを

新設。計測・制御・解析システムなどの設計・製作、顧客企業に納入した機器のメンテナンスなどを一手に引き受けることになりました。

同社がメーカー機能を持ったことでシナジー効果が生まれたと。 「従業員も増えたので単純に比較はできないですが、メーカー機能を持った

補助金活用で 市場での地位確立を目指す

ことで機器や消耗品販売の問い合わせも増えました。15年前に比べて年商が3倍ほどになったのでは」と岩本氏。

とはいえ、基本特許の有効期限が切れたことで競合他社が同様の機器を開発する可能性も考えられます。そこで、県の「産学官金連携技術革新推進事業補助金」を活用した取り組みも始めています。と再び岩本氏。

「工業技術センターさんとの事業で15年ほど開織技術の開発に関わってきたのですが、機器の改良については勘や経験を基に「こんな感じかな」とわりとざっくり進めてきたんですね。市場で優位に立つために機器の精度をより高めなければという



ロール状になった炭素繊維の原糸と帯状になった開織後のサンプル。

ことで、補助金で空気の流れを詳細に測定できる仕組みをつくり1年掛けてデータを蓄積してきました」。

機器開発やメンテナンスなど日常業務の間を縫い、データ収集に取り組んできたのは白井氏。「従業員規模がそれほど大きくない企業では、独自の研究部門を持つことは難しいですね。私も通常業務との兼ねなのですが、新たなことに取り組みやすいという社風に助けられたと思っ

「特許に基づく技術はほかにもあり、さまざまなカスタマイズの相談にも乗ることができそうです」と今後の展開に期待を寄せています。



注目企業 02

ふくい産業支援センターの事業や施策を活かし、前向きにがんばる県内企業の取り組みをご紹介します

産業車両の危険回避システム開発で躍進

福井小松フォークリフト株式会社

「ウェルガード」システム概要



大手建機メーカーコマツのフォークリフトの代理店である同社。4年前に自社開発した、フォークリフトの接触事故回避支援システム「ウェルガード」をはじめとし、建設現場の安全に関わる製品の売れ行きが好調のようです。今では開発・販売専門として、別会社のエウレカ株式会社を立ち上げ躍進を続けています。製品の開発から販路の拡大までのプロセスを社長室長の西篤史氏に伺いました。

適時適切なセンサーで 現場の現状に合った製品を

「ウェルガード」の開発に臨む以前から、取引先からは障害物検知システムについての問い合わせが多かったと話す西氏。当時は既に自動車のバックソナーが一般化しており、産業車両用への要望も徐々に高まっていました。「駐車時などの低速時に適切な位置へ停止するために使用される一般の自動車用と違い、フォークリフトは荷役作業中の後進時に不意に発生する危険を警告する目的で使用されるもの。センサーに期待される役割も全く違います。フォークリフトに特化した、鳴るべきタイミングで鳴る、適切なセンサーが必要でした」。

屋外での使用にも耐えるよう、温度・湿度の変化や雨雪

に強く、防塵性があり、かつ、安価なセンサー素子を探した結果、電車や高速道路など公共インフラで使用される信頼性の高い超音波センサーに行き着きました。超音波センサーの定説である風に弱いという欠点もクリアしたもので、ウェルガードの完成に大きく寄与しました。「それまでの商圏は福井県内だけでしたが、現場の抱えている課題は全国どこでも同じはずですが、現場の労働安全への関心が高まっている風潮も感じていましたし、需要はあると確信がありました」。

大型展示会への出展で 販路拡大をねらう

ウェルガードを完成させた後、コマツのルートを活かした販売を同時に全国に向けた販路を目指し、展示会へ出展を始めた同社。ふくい産業



福井小松フォークリフト株式会社
<http://www.fork-lift.co.jp/>
 所在地：福井市主計中町13-7
 電話番号：0776-91-553
 代表者：佐野 俊和 氏
 従業員数：30名
 事業内容：フォークリフトを含む産業車両、物流機器の販売、レンタル及び修理



支援センターの「新分野展開スタートアップ支援事業」の補助金を活用し、東京ビッグサイトで開催された「国際物流総合展」に出展しました。「販売チャネルの少なさが私たちの弱点と感じていました。世界三大物流展の一つである国際物流総合展に出展し、大手企業の安全性担当者などと直接話せる機会ができたことは大きかったです。顧客に目を向けてもらう意味でも効果的で、その場で商談になることは少なかつたものの、その後、数百セットの大口発注につながるなど成果がありましたね」と、展示会出展での手ごたえを語る西氏。初年度の1コマでの出展に続き、次年度は6コマ使用と大幅に拡大し、販路拡大に力を入れています。

商品構成を厚くし 世の中のニーズに応える

本格的な展開に向けて立ち上げたエウレカ株式会社では、現場のさまざまな要望に応えるべく、フォークリフトや建設機械への安全機器の種類を充実させています。フォ

ークの先に取り付け可能なナビデューティカメラや、危険感知により自動でスピードを制御するシステムなど、ウェルガードのセンサー機能を応用した製品が評価を得ています。中でも、人と物を見分けて危険を知らせるシステム「ブラクステール」は主力商



人と物を見分けるインテリジェント・カメラ・システム「ブラクステール」。歩行者との接触の危険があるときだけ、警告を発します。

この事業を活かしました

新分野展開スタートアップ支援
 本県の中小企業者が持続的な成長を目指して経営の多角化や事業転換に取り組む場合に、設備や販路開拓にかかる経費の一部を助成し、新分野への進出を支援します。

対象
 福井県内に主たる事業所があって1年以上の事業実績があり、過去3年間の平均または前事業年度の売上額が年間10億円未満の中小企業者・個人事業者・事業協同組合

助成率および助成額
 新商品開発、施設・設備、販路開拓にかかる費用
 補助率：2/3以内
 助成額：100万円～1,000万円

【お問い合わせ】
 (公財)ふくい産業支援センター
 ふるさと産業支援部 資金支援グループ
 TEL：0776-67-7406 FAX：0776-67-7429

品となりつつあるそう。決して安価ではないものの、これまでになかった高性能の使用できる製品を必要としていた大手ゼネコンや建機メーカーからの引き合いが続く、次々と代理店契約を結んでいます。「昨今は、労災による社会的制裁のリスクなどが高まり、企業の安全意識が高まっています。現状の事故を未然に防ぐシステム」の先として、事故が起こりえないシステム」の開発が次の目標」と西氏。現場の平面スキヤンと産業車両からのデータを組み合わせた現場の見える化システムの開発など、次なる構想を明かしてくださいました。今後も同社の動向から目を離しません。

実はこんなことしてるんです

産業情報センター 入門

Fukui Industrial Information Center

このコーナーでは、福井県産業情報センターが福井県内のみなさまに広く貸出をおこなっている施設や機材、取り組みをご紹介します。

1分でわかる!!

砂田 電吾氏



撮影・音声・ディレクション、ブライダル関連の映像、その他自社制作でのTVCM、VPなどトータルで行う福井県在住のクリエイター。「ローカルに合わせたコンパクトな制作で面白いもの」を目指し映像制作をしている。

Q マルチメディアサポートセンターご利用のきっかけは?

A 福井市越廼地区の「地域おこし協力隊」からの依頼で、越廼地区のよさを後世に残していくための映像を制作することになり、越廼地区を象徴する「神楽（かくら）」の撮影を行うことになったのがきっかけです。

Q 4Kカメラを選んだ理由は?

A ドキュメンタリーになるということもあり、フィルムライクに、映画っぽい画質にしたかったため、映



ITオンチでもわかる ネットを活用した 実店舗への集客

実店舗の集客にもネットが欠かせない時代になりました。今回は、ネットを活用した実店舗への集客方法についてご紹介します。

SNSが引き起こした変化

近年ライフスタイルが大きく変えたのはスマートフォンですが、加えて、実店舗の集客に大きなインパクトを与えたのはSNSの浸透です。お客様はSNSをとおしてリアルタイムに情報を入力し、地図の誘導でお店にいき、楽しんだあとはそれをSNSにフィードバックして盛り上がる。それはあたかもSNSを楽しむためにお店に訪れているような行動です。

人によっては、眉をひそめてしまいがちですが、若者を中心に現実になされている行動で、実店舗への集客を考えると、絶対には意識する必要があります。

位置情報と関係性が肝

SNS時代はお店の宣伝より口コミが重要視されます。自分自身で発信することよりも、どうすればお客様自身に発信してもらえるのかを考える必要があります。そのためには、そのための関係性をお客様とどう築くか、口コミしたくなる商品やサービスをいかに提供できるかが重要になってくるのです。

実店舗の集客のためにもうひとつ重要なキーワードが位置情報です。例えば「口コミはされたが、お店に来てもらえなかった」のではビジネスとしては成立しません。位置情報のない口コミでは実店舗への集客効果は激減してしまいます。

お客様は、言葉ではなく写真で検索して来店する

最近テレビで「インスタ映え」という言葉を耳にするよ

Q 4Kカメラは、ニュースを編集時に変えることができますか?

A 4K映像はBT2020という規格で、ほとんどの色彩が表現できます。例えば赤いバラを撮影するにしても、赤は赤でいろんな階調があり、解像度の高さに加えて、その微妙な色合いを表現できるのが4Kで撮影することのメリットです。逆に言うと、撮影時に撮影画面の色合いにそこまで気を張らなくてよいので、今回のような限られた時間の中で、屋外や屋内といった様々な場所を撮影する案件では最適でした。

Q 4Kカメラはどんな方におすすめですか?

A 今回はひとりで撮影に望みましたが、機材の進歩もあり十分に活用できました。仕事で利用する場合はもちろんですが、趣味として映像を撮ってみたいという方にもおすすめです。低予算で

うになりました。これはインスタグラムというSNSに投稿したくなる商品やサービスのことで、若者を中心に利用が拡大しており、お店選びにも大いに利用されています。

皆さんはスマホを使って外出先で飲食店を探す場合どういった方法を思い浮かべるでしょうか。一般的な方法としては、「食べログ」や「グーグル」の検索機能を使って、好きなジャンルや地域で検索して探すと思いますが、最近、若者の間では、インスタグラムが検索にとって代わって利用されるようになってきました。

例えば、美味しそうな食べ物や写真を友達にインスタグラムに投稿する、それを見たユーザーは、画像と位置情報だけで行くお店を決めるのです。従来なら、お店の情報をある程度調べてから来訪するのが普通だと思えますが、「実際に楽しめたのだから何が悪いの?」。これが今の消費者の感覚なのです。

位置情報を付けた投稿をしてもらう仕掛け

先ほどご紹介しました

借りることができるので、フリーランスの方でも試しやすいですし、ぜひ利用して4K

映像の作り込みを楽しんでもらえればと思います。



お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
販路開拓支援部
創業・Eビジネス支援グループ
TEL 0776-67-7411

サウンド編集に関する勉強会

「ミニミニ勉強会～サウンド編集のお悩み解決します～」を開催しました!

MSCでは、システム管理者のサウンド編集専門家が、映像制作者のみなさんの音関連のお悩みを解決する勉強会を開催しました。参加された方からは、「知らない事ばかりだったので、勉強になった。」「これまで、自己流で不明だった点ができるようになった。」などと嬉しいアンケートメッセージをいただきました。今後も県内映像制作者のみなさまのお悩みを幅広く解決していく取り組みを続けて参ります。



IT研修や無料相談のお問合せ先

(公財)ふくい産業支援センター
販路開拓支援部
創業・Eビジネス支援グループ
TEL 0776-67-7411

その他にもいろいろ新しい手法が試されていますが、お店の商品やサービスによって反応は異なります。SNSの集客は手軽に始められるものばかりです。から、いろいろ試しながら、自社にあった集客方法を見つけましょう。

が、お店に集客するためには位置情報が付いた投稿(チェックイン投稿)をしてもらう必要があります。チェックイン投稿をしていただくお客様にはプレゼントや割引クーポンを発行するというのも最近ではSNSパネルというのも流行っています。観光地によくある顔ハメパネルのお店版です。楽しい顔ハメならSNSに投稿したくなるわけです。なかには「インスタ映え」する商品を企画するお店もあります。

その7
福井のスゴ技探訪

福井の基幹産業を支えている「ものづくり技術」。伝統工芸の熟練の技、こだわりを追求した技など、さまざまなジャンルから福井の「スゴ技」をご紹介します。新コーナーです。県内のものづくりの心意気を感じてください。

「金箒の製造」 有限会社春江金箒製作所

織機の付属具の一つである「箒」。竹や金属の薄片を櫛の刃のように並べ枠をつけたもので、縦糸を整え、横糸を打ち込むための部品であり、織物の製造には必要不可欠です。以前は、箒づくりの専門企業が県内だけでも数十社あったものの、機屋の減少に合わせて今では10社を切るほどのこと。手作業での少量多品種生産で顧客の細かなオーダーに応え、その精度と品質の高さで繊維業界を支える同社に、金箒づくりの技を見せていただきました。



スゴ技

「手作業での金箒づくり」

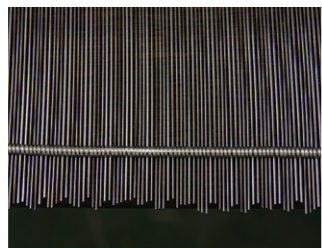
金箒と一言と言っても千差万別。箒羽の厚みやその間隔など、織機の種類や作る織物によってそれぞれに変わってきます。小ロット注文の製品には主に手作業で対応する同社。バネ状の治具の間隔を利用してステンレス製の箒羽を1本1本狭み込んでいき、枠にしっかりと固定するためにハンダ付けをし、治具を外して完成という根気のいる作業で、小さな製品でも一連の工程に2時間は掛かるといいます。職人技と長年の間に培ったノウハウを活かし、丁寧かつ迅速に納品することが同社の強みとなっています。

スゴ技の様子を動画で公開中！

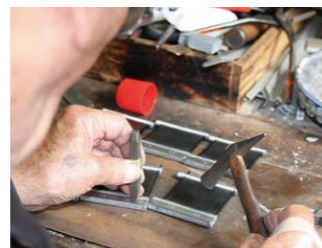
F-ACTのHP (www.fisc.jp) から
または、こちらのQRコードからご覧ください



同社が製作した小型の金箒。作られる織物の用途や織機によって金箒の形状もさまざまです。



製作途中の製品のアップ写真。よく見ると2〜3本おきに箒羽の厚みが変えられています。横軸に見えるのが、羽の間隔を決めるバネ状の治具。



ハンダで取り付けられた枠に製品番号を刻印して完成。国内はもちろんのこと、海外にも出荷されます。



工場内に所狭しと立てかけられた金箒たち。メンテナンスや修理も手掛ける同社には全国から金箒が集まります。

有限会社春江金箒製作所 所在地：坂井市春江町江留上日の出49-1 電話：0776-51-0023

第2回

“つくる”現場 “売る”現場で
社員の戦力を強化する

企業経営において「現場」は価値を生み出す主体であり、目標達成のためには現場力の発揮が求められています。今回は、数ある現場の中で「製造」と「販売」に焦点をあて、そこで働く人に求められる能力や戦力強化に向けた研修についてご紹介します。

つくる現場

QCDを意識し継続的に改善できる人が
求められる

ものづくりの大事な視点としてQCDがあります。不良を取り除いて品質(Q)を高め、適切な納期(D)で商品を届けるとともに、正しいコスト(C)管理を行うことです。そして、QCDを適切に回すために欠かせないのが現場改善。現場改善は“単なる改善”ではなく、生産“革新”を実現する必要不可欠な活動です。

現場改善には、たとえばムダ取りが挙げられます。手待ち・動作・運搬などの付加価値を生まないムダを排除すれば利益創出につながります。5S（整理・整頓・掃除・清潔・躰）も今や現場改善の基本です。これらを「見える化(見ればすぐにわかる生産現場)」することで、より作業環境が向上された効率的な生産現場を構築することができます。

また、現場改善は経営者や管理者がトップに立ち、全社一丸となって取り組むことが大切です。日頃から常にコミュニケーションを交わし、作業レベル毎に作成した作業標準書をもとに指導・育成を行うことで、人の成長や現場の活性化に貢献します。問題発生時には現場を直視し、なぜなぜ分析により徹底的に原因分析を行い、再発防止に努めることが必要で、これらは、現場リーダーが率先して担う仕事です。

売る現場

ビジュアル的な訴求が
できる人が求められる

販売の現場では、通りかかる店舗の中で自店を選択して入店し、商品に興味を持ってもらい購入に至るまでのお客様の購買行動を考える必要があります。特に最近では、陳列やディスプレイ、配色など、ビジュアル的な思考による店づくりが重視されています。手書きPOPも、機械的ではない文字の形や自然なタッチに温かみがあり、書き手の思いを伝えることができるツールとして重宝されています。

モノだけではなく“ヒトを売る”ことも意識しなければいけません。“あなたから買いたい”と思わせる一流の接客技術や、クレームに臨機応変に対応できるスキルも求められます。

中産大では、今回紹介したような現場力を強化するための研修を次表のとおり揃えています。受講を検討される際の参考にしてください。

申込
受付中

分野	中産大研修	日にち	研修で学ぶポイント	
つくる現場	現場改善	生産現場力リーダー強化セミナー	7/11	・現場改善を主導できるリーダーの行動10則 ・作業標準書による部下育成
	現場改善 5S	本物の5S・見える化セミナー	8/8	・今求められる5Sの本物の意味 ・5Sと見える化をセットにした強力な現場改善手法
	Q(品質)	ダントツ品質モノづくり対策実践セミナー	11/14・15	・不良発生、ヒューマンエラーの撲滅方法 ・IoT時代の標準化
	C(コスト) D(納期)	調達基礎力レベルアップセミナー	9/8	・購買の役割とコスト削減のアプローチ ・品質・納期の管理手法
	問題解決	問題再発防止のための「なぜなぜ分析の進め方」	12/5	・現場の問題を解決するための論理的思考
売る現場	見せ方	選ばれるお店づくり基礎講座	8/24・31 9/7	・ビジュアル思考で考える“支持される”店づくり ・店舗運営の基礎知識(営業計画等)
	見せ方	商品の魅力を引き出す手書きPOP	10/25	・手書き文字のコツ、配色効果 ・キャッチコピーの作り方
	接客	接客・クレーム対応力強化セミナー	11/8	・「あなたから買いたい」と思わせる一流の接客術 ・顧客満足につなげるクレーム対応の基本



【問い合わせ先】

(公財)ふくい産業支援センター
人材育成部 (中小企業産業大学校)
電話：0776-41-3775 メール：manabi@fisc.jp

研修の詳細は

ホームページをご覧ください

中産大

検索

チャレンジ発注推進事業募集のご案内

県では、新しい事業分野を開拓しようとするベンチャー企業や経営革新を目指す中小企業者等が開発した新商品や役務を認定するとともに、県が政策的随意契約により率先して調達することにより、企業の信用力を高め、販路開拓を支援しています。

※認定した商品・役務の県による調達を確約するものではありませんので、ご注意ください。

1 募集対象者

県内に主たる事務所を有する中小企業者、県内で新たに法人を設立しようとする者、企業組合・協業組合・事業協同組合・商工組合・NPO等の個人または法人で、新商品の生産や新役務の提供により新たな事業分野の開拓を実施しようとする者を対象とします。

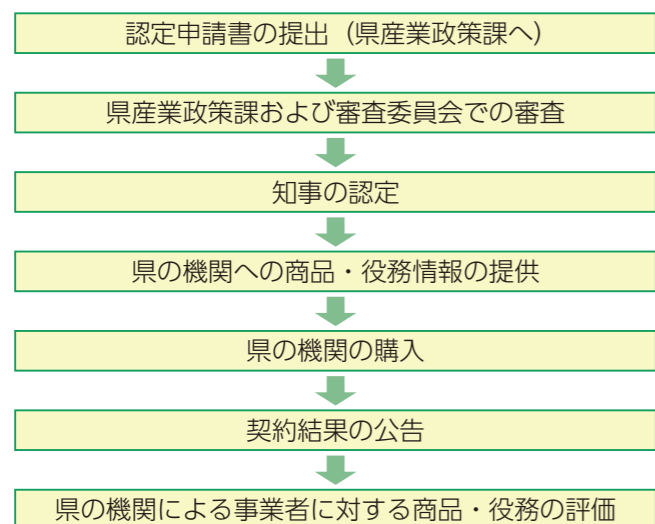
2 募集期間

平成29年7月21日(金)まで(郵送の場合、当日消印有効)

3 認定によるメリット

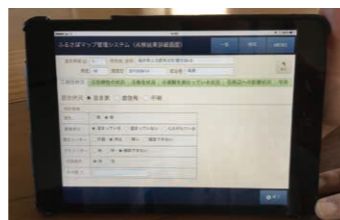
- 当制度の認定事業者は、商工中金の「福井チャレンジ発注推進事業活性化ローン」の利用が可能になります。
- 県では、県庁内や市町等に向けて様々な手段(ホームページ掲載、全国ネットワークの活用等)により、認定事業者の商品・役務等をPRします。

4 認定手続きのフロー



県・市町の調達実績
(平成17年度からの累計)
144件、124,345千円
(政策的随意契約以外の実績も含む)

成果事例



株式会社北山建設
空き家調査管理システム「ふるさぽマップ」

以下のホームページから認定申請書、実施計画書の様式等のダウンロードができます。

<http://www.pref.fukui.jp/doc/sansei/>

応募者からプレゼンテーションをしていただく審査会を開催する予定です。

(審査会の日程、場所等は、応募者の方に別途お知らせします)

認定期間：認定の日から3年

■お問い合わせ先・申請先■

福井県産業労働部産業政策課 小規模企業応援室

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号

TEL. 0776-20-0367 FAX. 0776-20-0645 E-mail sansei@pref.fukui.lg.jp



2016 度グッドデザイン賞受賞

包丁 [丹巖龍シリーズ(胡桃、楓、マイカルタモデル)] / 株式会社龍泉刃物

丹巖龍シリーズは、プロの料理人達から要望を聞き、使い方を徹底的に研究。握り方、重量バランス、料理方法等を想定し、細かな点を改善しました。刃には、鋸目を付けることにより食材と刃の間に空気層を作り、切り離れを良くしています。また、柄尻の金属部分にも鋸目を入れ、ニンニクや肉を叩く際、食材に均一に力がかかる事を可能としています。ハンドルは、通常よりも長く、中心部に立体的な膨らみを持たせており、繊細な作業や引き切り、押し切りが容易にできるよう考慮。素材には水に強いマイカルタと、空目が美しい天然木のカーリーメープル・ウォールナットの3種類を用意しました。料理人は、ハンドルを握らずに刃のアゴに近い金属部分に人差し指を掛けて使うことがあるため、アゴから柄に繋がる部分を鈍角に切り上げ、角をとり丸くすることで、長時間使用しても疲れや痛みを感じにくい形になっています。またその場合、親指を柄と刃の繋ぎ(口金)の逆アール(凹み状の曲面)に置きますが、この部分にも鋸目を入れることで滑り難くしています。伝統的な技術を伝承しながらも常に技術革新に挑み、切る対象物や利用者、使い方を限定することなく、時代のニーズに対応した刃物を作り続けています。

【DATA】

- 受賞対象名 包丁[丹巖龍シリーズ(胡桃、楓、マイカルタモデル)]
- 受賞企業 株式会社 龍泉刃物
- プロデューサー 増谷 浩司
- ディレクター 増谷 美恵子
- デザイナー 増谷 泰治
- 仕様 刃仕様：両刃 刃長さ：135mm～240mm
刃材質：VG10 ダマスカス鋼
ハンドル材質：胡桃、楓、マイカルタ
重量：65g～233g 製造：日本製

【審査委員の評価】

担当委員 | みやけ かずしげ 鈴木 啓太 村田 智明
安西 葉子 渡辺 弘明 Manfred Wang

700年続く伝統工芸品である包丁を、ユーザーである料理人の意見を取り入れながら時代に合わせ、進化させている真摯な姿勢をまず評価したい。持ち手部分に使い心地を向上させる工夫を丁寧に施し、使いやすく、美しい製品に仕上がっている。

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

企業情報メール便

販路開拓のチャンス!
本誌にチラシを同封できます



本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか?

部数・料金が
変わります

●次回実施号
VOL.26 8月25日発行予定
チラシ提出締切日: 8月18日(金)
チラシ1,700部をご提出
(持参または配送) ください。

●料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	6,480円
A4判超~A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,720円
A4判以下のパンフレット(10ページ程度まで)	12,960円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。

1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT編集室
TEL: 0776-67-7414 e-mail: kouhou-g@fisc.jp

ビジネス支援拠点の利用者募集のお知らせ

県では、「ふくい南青山291」にある1坪ブースの入居企業を募集しています。首都圏における事業展開や販路開拓等にご活用下さい。

区分	貸しブース
利用料金	月額 26,000円
備考	電話・FAX・インターネット、コピーの利用に係る経費は、別途実費負担が必要です。インターネット接続に必要な手続きは、入居者での対応が必要です。ミーティングスペースとして、応接室が利用できます。

- 利用期間: 原則1年間(3年間まで更新可能。)
- 保証料: 利用料金の3ヶ月分に相当する額
(入居時にお支払いいただき、退去時に返還します。)
- 利用時間: 原則、月~金の9時~18時まで
(お盆、年末年始を除く)

※詳細については、下記までお問合せください。

お申込み・お問合せ先

福井県産業労働部 産業政策課 商業・サービス業振興グループ
☎: 0776-20-0369 E-mail: sansei@pref.fukui.lg.jp

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>
総務部 TEL:0776-67-7414/FAX:0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声をお聞かせ下さい!

「○○が面白かった、ためになった」、「△△をもう少し□□にしたらどうか」、「●●のテーマについて紹介して欲しい」、「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

【デザイン】企画立案を含んだ設計あるいは意匠。(中略)近代デザインでは、機能的、美的、経済的、技術的要因のそれぞれが最も効果的に構成されるとき、最も優れたデザインとなると考えられてきたが、その後現代社会を反映し、人間の情動的、環境的要因がより重視されるにいたった。(出典|ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典)

とあるように、デザインは、見た目の美しさだけではないのはもちろんのこと、その評価軸の幅もどうやら時代に合わせ広がっているようです。言い換えれば、領域が広がり複雑で難解になっているとも取れます。餅は餅屋というように、デザインに関することはデザイナーに相談するのが得策といえるではないでしょうか。今回の特集に登場する企業の方々は、それによって商品開発や販路開拓への道筋をつけました。どの方もデザイナーとの協働にとっても満足している様子でした。

デザイナーとのマッチングなど、「デザインセンターふくい」ではさまざまな相談に対応できる他、リニューアルされた美しい空間でデザインに触れられるだけでも、次の開発やビジネスへのモチベーションに繋がります。ぜひ、足をお運びください。

新聞記事から集めた 県内企業の 新商品・新規事業

■収集期間: 平成29年4月1日~29年5月31日

■収集対象: 福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

【食料品・飲料】	
そばの風味とパスタの食感を楽しめる「Echizen Soba Pasta (越前そばパスタ)」を開発。パスタの原料であるセモリナ小麦に、県産ソバの実を自社で石臼で挽きそば粉を加えた。つなぎとして県産小麦「ふくこむぎ」を、塩には越前海岸の海水から作った「越前塩」を使用している。	増田そば製粉所 (越前市)
福井県立大学が開発した新品種のコメで醸造した大吟醸酒「稲越」を開発。県立大学の地域連携事業に同社が協力した。原料のコメは、生物資源学部の三浦孝太郎准教授がコシヒカリの遺伝子を改変して開発した「福井県大水稻1号」を使用している。	久保田酒造 (坂井市)
恐竜をパッケージにあしらった新商品「フクイブレンドレギュラーコーヒー」の販売を開始。ドリップタイプで2種類を用意。コーヒー本来の苦みを強調したキレある味わいの「ラトルハード」の袋には肉食竜を描き、まるやがでコクのある「サウルスマイルド」は草食竜をデザインした。	西村珈琲 (福井市)
【繊維/衣服】	
カーテン製造・販売の同社は受注・販売用のサイトを新たに立ち上げ、顧客がスマートフォンなどで撮影した写真やイラストを生地に印刷して販売するオーダーメイドサービスに参入。遮光や防音などの高機能カーテンが強みであり、デザイン性だけでなく実用性を兼ね備えた点を売りにする。	アルマック (福井市)
呉服・和雑貨販売の同社は、ビジュアル系ロックバンド「フェスト・ヴァンクール」が監修した女性向けセパレート衣装を100着限定で販売。同バンドのファンは20~30代が中心だが、「幅広い年代の人に着てもらえるように」とのメンバーの要請を受け落ち着いた色合いに仕上げた。	和あらいや (坂井市)
【金属/機械】	
造形アーティストやデザイナーと一緒にインテリアブランドを立ち上げ、第一弾としてスタッキング・ツールを開発・製造。「ファクトリーアートミュージアム トヤマ」(富山県)に納入した。溶接技術と鉄工所だからできる形状や加工を駆使し、溶接工場の高級インテリアブランドを目指す。	長田工業所 (坂井市)
眼鏡製造機械・工具の卸、製造販売の同社は、眼鏡枠製造時のネジ締め用の新型電動ドライバーを開発した。従来品に比べ、ネジの吸着率を高めて作業の効率化を実現し、ネジが途中で落ちにくくなった。	晃梅 (鯖江市)
【眼鏡】	
同社が製造する極薄老眼鏡「ペーパーグラス」を取り扱う、台湾で2店舗目の専門店が台北市にオープンした。同市中心部に位置する商業施設の1階にあり、店舗面積16.5平方メートル。台湾にある総代理店が運営し、同社が商品供給する。	西村プレジジョン (鯖江市)
眼鏡レンズ製造の同社はルーペの機能を持ったペンダントを商品化。水滴の形をした光学用プラスチックのレンズそのものが飾りになる。老眼鏡に抵抗がある年配の女性向けギフトを中心に需要を開拓する。	乾レンズ (鯖江市)
眼鏡フレーム用のセルロースアセテート材を使った指輪を商品化。既存商品の肉厚の指輪よりスリムなデザインで、「十二単」にちなんで12種類を用意。気分に応じて組み合わせることができるのが特徴で、20、30歳代の女性を中心に販路を開拓する。	キッソオ (鯖江市)
【その他の製造業】	
主力製品のソファの革を有効活用する事業を開始。製造工程で出た端材でベンチやコースター、ポーチなどを作り、家具店に販促用に提供する。高い質感が特徴で、OEM(相手先ブランドによる生産)にも活用、取引先の開拓を狙う。	マルイチセーリング (越前市)
炭素繊維複合材料や漆など福井県産産物を活用した「野点洋傘」を開発。雨の日にも使えるのが特長で、色や傘の丸み、柄などはオーダーメイドできる。販売だけでなく、イベントやインテリアなど向けに、業界でも珍しいリースでの利用も提案している。	福井洋傘 (福井市)
教材・遊具企画販売の同社は腰骨が立って姿勢がよくなりやすい幼児用の木製椅子「ピットチェア」の販売を開始。座る座面が後ろに少しだけ傾き、自然に深く座ることができる。保育園や幼稚園を中心に販路を開拓する。	ジャックエツ (敦賀市)
業界ナンバーワンの耐震性を実現した学校用稼働間仕切り「SA-90K」と、製造原価や輸送コストを抑えた福祉施設向けの自閉式上吊り引き戸のシャトルドア「SWシャトルドアRシリーズ」を開発。新商品のシリーズには、より安価な木扉の商品もある。	山金工業 (福井市)
【商業/サービス】	
アクリル板に恐竜をプリントした「恐竜ブロック」を開発。火山や草原などの恐竜時代をイメージした別売りの背景パネルに並べ、思い思いの「恐竜王国」を楽しむことができる。恐竜を使った商品はキャラクター化したものが多いことから、「リアルな恐竜」をデザインし、差別化した。	プラスチック (福井市)
三国サンセットビーチ前で営業していた民宿を改修し、宿泊、レストラン、温泉も備えた店舗「みくに隠居処」をオープンし、魚の買い取り所「おと」を併設した。漁業が年々衰退する中、釣り客に漁業への関心を高めよう狙い。	みくに隠居処 おと (坂井市)
マイホームづくりに関する相談や手続き代行を一手に引き受けるサービス「住まいのコンシェルジュ」を開始。施工、設計、金融など地域企業とのネットワークを生かし、消費者の負担を軽減するとともに豊かな暮らしの提供を目指す。	クローバー工房 (福井市)
社会福祉法人の福授園(鯖江市)、ニット生地のハルテック(坂井市)と連携し、酉年生まれの赤ちゃん向けにギフトセットを商品化。ひよこのおもちゃとスタイを組み合わせた。福授園の施設に通う障害者が手作りし、スタイはハルテックが担当する。	大津屋 (福井市)
デザインガラスを使ったおしゃれなペアガラス「デザートペア」の販売を開始。レトロな雰囲気デザイン性と機能性を兼ね備え、トイレや浴室、キッチンなどの小窓用を想定している。大きさはオーダーメイドで受け付ける。工務店や設計士の需要を見込んでいる。	OOKABE GLASSホールディングス (福井市)
ワイシャツのクリーニングに防臭加工を施したサービスを開始。臭いが気になる中年男性らのニーズにこたえようと、業務用クリーニング薬剤を手掛ける日華化学(福井市)と共同開発した。ワイシャツを着た時に摩擦などで極小のカプセルがはじけて嫌なにおいを中和する。	黒川クリーニング (福井市) 日華化学 (福井市)
【情報産業】	
ITベンチャーの同社が、中小企業向けのセキュリティ診断サービスを開始。ランサムウェアなどのウイルスによる大規模サイバー攻撃の脅威が高まる中、個別の企業ごとに必要な設備投資や人材の確保・育成についてアドバイスする。	ビットブレイン (福井市)
同社は、パルス(東京)が運営するインテリア雑貨店「フランフラン」に、仮想現実(VR)システムを導入する。VRシステムの導入により、仮想の3D空間で家具や寝具を配置して見て、実際の部屋を具体的に想定できるようになる。	福井コンピュータドットコム (坂井市)



ワクワクする夏!

夢 2017夏!

キャンペーン

金利上乗せ定期預金

【お取扱期間】平成29年6月15日(木)～8月31日(木)



年



(税引き後)
0.0398425%

※平成29年6月15日現在の適用金利を表示しております。

適用金利:店頭表示金利+年0.03%(金利上乗せ)

お預け入れ金額:10万円以上1,000万円以内 ※1円単位

募集総額:200億円 ※募集総額に達した場合はお取り扱い期間中であっても販売を終了させていただきます。

■商品の概要

- お取扱期間 / 平成29年6月15日(木)～8月31日(木)
※ただし、募集総額に達した場合や市場動向によっては、お取扱期間中であっても販売を終了させていただきます。
- ご預金の種類 / 自動継続スーパー定期1年もの●お取扱い対象 / 新規にお預け入れの個人のお客さま(個人事業主さまを含みます)●お預け入れ金額 / 10万円以上1,000万円以内(1円単位)●適用金利 / スーパー定期1年もの店頭表示金利+年0.03%(金利上乗せ)として満期日まで適用します。
- 募集総額 / 200億円

■ご注意いただきたい点

- 継続後の利率 / この預金は自動継続のため、継続後の利率は継続日の店頭表示金利とさせていただきます。
- 期限前解約 / この預金は期限前解約ができません。やむを得ず満期前にご解約された場合、上乗せ金利は適用されず、お預け入れ日からご解約日までは、当行所定の中途解約利率が適用されます。
- 中途解約利率 / 6ヵ月未満の場合は解約日における普通預金の利率、6ヵ月以上1年未満は預入日から解約日までスーパー定期預金に預け入れられた場合に適用する預入日における当行の店頭表示金利に70%を乗じた利率●利息の計算方法 / 付利単位を1円とした1年を365日とする日割計算●利払頻度 / 預入期間1年もの:満期日以後に一括してお支払いいたします。
- 税金 / お利息には、20.315%(国税15.315%、地方税5%)の税金がかかります。※平成49年12月31日までの間にお受け取りになるお利息には「復興特別所得税」が課税されます。※ただし、マル優ご利用の場合を除きます。
- 預金保険 / 本商品は預金保険の対象であり、他の対象商品と合算して、預金者1人あたり元本1,000万円までとその利息等が保護されます。

平成29年6月15日現在

ゆめBANK
福邦銀行

FUKUHO SUMMER 2017